

会派名	維新会
-----	-----

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
1	一般会計	青少年相談員事業	総務教育分科会

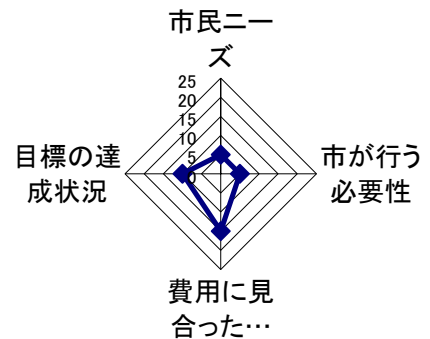
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 青少年の保護者	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	5	青少年保護者からの認知度も低く、ニーズは低いと考える。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 ①市が関与する②他団体が 行う③何もしない ということを含めて市が行う 必要があるか	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	5	他団体の対応が可能と考えられるため、必要性は低い。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 相談員活動実態と予算 (148,000円)を考慮した視点	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	15	ボランティア活動が主体で費用は高額ではないが、活動が限定的であるため、中間評価が妥当である。
(4) 目標の達成状況 評価の視点 青少年の良好な地域環境 整備が図られているかという 視点	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	深夜営業のお店へのお願いや、コンビニの大人雑誌の分別陳列指導など、一定の環境整備が図られているが、全体的な効果は限定的である。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	35
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

他の同様の活動を行っているボランティア団体等への委嘱、連携も含めて検討した方がより効果的である。

課題と反省

平成28年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	公明党
-----	-----

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
1	一般会計	青少年相談員事業	総務教育分科会

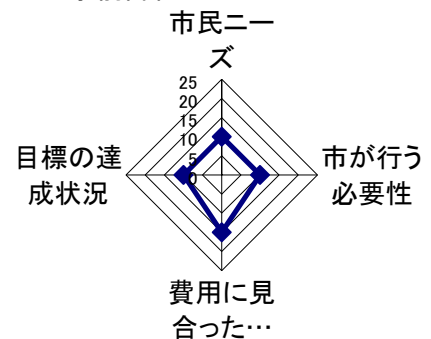
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 青少年の保護者	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ○ ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	10	青少年が立ち寄る店舗の見回りをしているが、市民や保護者には、あまり知らされていないので、保護者も効果を実感していないと思われる。。市民に知らせることが犯罪の抑止力ともなるので、活動を知らせるべきである。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 ①市が関与する②他団体が 行う③何もしない ということを含めて市が行う 必要があるか	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ○ ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	10	市が9名に3年間、相談員として委嘱しているが、相談員の高齢化が否めない。成人雑誌の取り扱い注意や協力店の以来なら、他の組織でも行うことができるのではないかと。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 相談員活動実態と予算 (148,000円)を考慮した視点	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ○ ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	15	年1回の会議の報酬と県の相談員会議に出る旅費なので、適正である。
(4) 目標の達成状況 評価の視点 青少年の良好な地域環境 整備が図られているかという 視点	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ○ ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	現在71店舗ある協力店からの通報等は1件もなく、日中のみの見回りでは、あまり大きな成果は期待できない。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	45
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

現在の青少年を取り巻く問題点の、何を解決しようとしているのか、目的に合った取り組みを考える時期である。

課題と反省

相談員の高齢化と役割。市民への広報活動。

平成28年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	日本共産党
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
1	一般会計	青少年相談員事業	総務教育分科会

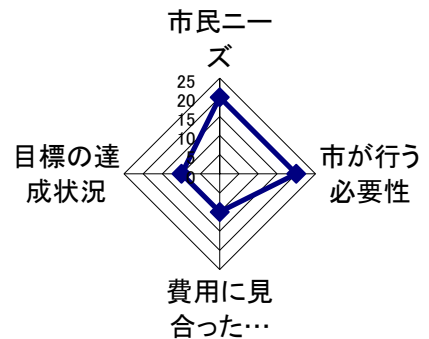
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 青少年の保護者	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	○      20	コンビニのコーナーに青少年に有害なものを置かない、など配慮必要。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 ①市が関与する②他団体が 行う③何もしない ということを含めて市が行う 必要があるか	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	○      20	青少年増加の市として市が行う必要がある。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 相談員活動実態と予算 (148,000円)を考慮した視点	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	○      10	予算規模少ない。上げる必要ある。
(4) 目標の達成状況 評価の視点 青少年の良好な地域環境 整備が図られているかという 視点	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	○      10	現在の地域環境からみて、市内全体、駅前などで声掛け活動など強化すべき。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	60
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

もっと、人間も予算も増やして市の重点事業としてスキルアップすべき。

課題と反省

パトロール時間など配慮し、青少年との話し合い相談の機会作るべき。

会派名	もりや清流会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
1	一般会計	青少年相談員事業	総務教育分科会

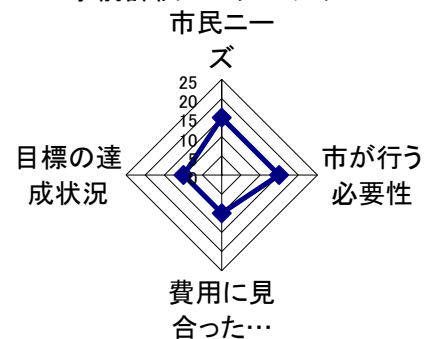
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ (評価の視点 青少年の保護者)	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ○ ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	15	青少年の保護者にとって自分の子供たちを非行から守ることは第一である。ただ本事業の認知度を考えた場合、他に期待するものが強いと思われる。
(2) 市が行う必要性 (評価の視点 ①市が関与する②他団体が 行う③何もしない ということを含めて市が行う 必要があるか)	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ○ ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	15	市(教育委員会)が全く関わらないことは考えられないが、他の団体に委託し市(教育委員会)がそれをサポートすることは考えられる。
(3) 費用に見合った効果 (評価の視点 相談員活動実態と予算 (148,000円)を考慮した視点)	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ○ ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	一工夫すればもっと効率的な運営ができる。
(4) 目標の達成状況 (評価の視点 青少年の良好な地域環境 整備が図られているかという 視点)	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ○ ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	本事業の目標をどこに置くかや活動そのものが地味であるので成果が華々しく表面化することは難しい。とは言え、青少年の非行を未然に防ぐのが地域の使命として考えた場合、思い通りの成果が上がっているとは言えない。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	50
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

本年度から相談員の人員が減り人件費を主に予算も減少している。また相談員の高齢化もあり事業そのものが曲がり角に来ている。事業の名前から期待される目的である”相談”は活動としては少なく、パトロールと有害図書に対する店舗へのお願いが活動の中心になっている。ただ青少年の非行防止や県事業との連携を考えると、事業そのものを廃止することは考えられず、息の長い活動にするために、他の団体との提携・協働を模索しても良いと思う。

課題と反省

会派名	もりや創世会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
1	一般会計	青少年相談員事業	総務教育分科会

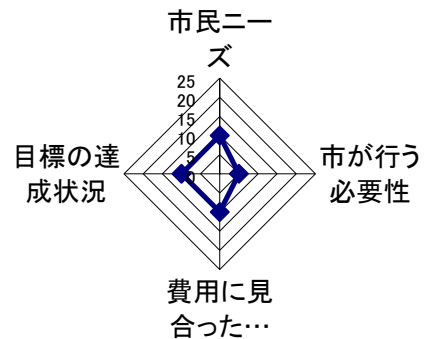
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 青少年の保護者	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	10	ニーズがないとは言い切れないが事業自体の知名度が低く周知されていないのが実態である
(2) 市が行う必要性 評価の視点 ①市が関与する②他団体が 行う③何もしない ということを含めて市が行う 必要があるか	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	5	②他団体が行ったほうが良いと考える。夜間活動の方が効果的であるため
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 相談員活動実態と予算 (148,000円)を考慮した視点	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	活動実態が低くなってきており費用対効果は高くない
(4) 目標の達成状況 評価の視点 青少年の良好な地域環境 整備が図られているかという 視点	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	有害図書の区別等を行っているが良好な地域環境整備までは至っていない

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	35
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

青少年相談事業は名称と実態に少々隔たりがあり、相談に関しては過去の実績がない。主な事業内容はコンビニ等への注意喚起などの働きかけになっている。巡回も昼には行われているが夜間巡回の需要が高まっている。しかし青少年相談員の年齢も年々高くなってきており、夜間の巡回は難しくなっている。今後は他団体が巡回を行うことも検討する必要がある。

課題と反省

平成28年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや未来
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
1	一般会計	青少年相談員事業	総務教育分科会

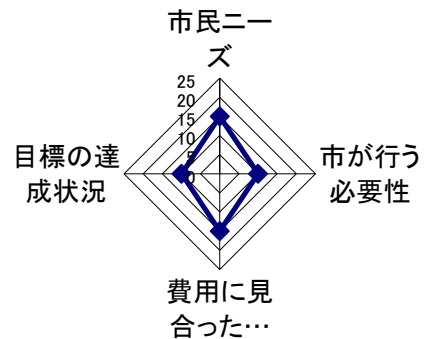
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 青少年の保護者	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ○ ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	15	青少年の健全な育成については保護者としては必要。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 ①市が関与する②他団体が 行う③何もしない ということを含めて市が行う 必要があるか	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ○ ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	10	他団体等(防犯関係・ボランティア団体等)で協力、活動して頂けるならより望ましい。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 相談員活動実態と予算 (148,000円)を考慮した視点	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ○ ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	15	予算額に対してある程度の活動内容は評価できるが、他団体と連携し協力体制を整えた方がより効果的。
(4) 目標の達成状況 評価の視点 青少年の良好な地域環境 整備が図られているかという 視点	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ○ ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	午後11時から午前4時までが青少年の外出禁止時間に、パトロールがなされていないので、目標の達成がなされていない。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	50
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

青少年の健全な育成は必要であるが、実際の相談員のパトロール時間のズレが課題である。他団体の協力得て行う必要がある。

課題と反省